



三年先の稽古

発行：校長 益子 朗

悔いのない努力を！

来週2/15(月)16(火)、2年生・1年生の第3学期期末テストが行われます。また3年生の実力テストも予定されています。

先日、ある学級ではテストの学習計画の見直しをしていました。学習計画は、一度立てても、つい怠けてしまったり、思うようにはかどらなかつたりするものです。むしろ、計画通りに勉強できたら苦労はありません。



計画通り進んでいなくても、これから軌道修正すれば十分に間に合います。結果はどのようになっても、悔いのないようになり、やるべきことはしっかりとやる数日間にしてほしいものです。



校是「三年先の稽古」

○みんなが行きたくなる学校
○「現場力」「本番力」を磨く学校
○地域に支えられ地域を支える学校

どうなる？ 卒業式

先日、ある保護者の方から、「今年の卒業式はどうなるんですか」というお尋ねがありました。



- ご承知のようにコロナ危機で、今後の状況によつては変更があるかも知れませんが、今のところ、次のような概要になっています。
- 3月12日(金)本校体育館で実施。
- 卒業生、在校生、全職員が参加。
- 卒業生の保護者は2名まで。指定席とし、写真・ビデオ撮影は2階ギャラリイからに限定。
- 来賓はなし。祝辞も書面で。
- 校長式辞、送辞、答辞は実施。
- 式歌はマスク着用で、間隔を十分空けて歌唱。
- 式後の学活(教室)には保護者は入らず廊下で待機。
- 門送(見送り)は立ち止まって話したり握手したりせず実施。
- 終了後は直ちに解散・帰宅。

例年に比べれば制限や制約が多い卒業式になります。何よりも無事に挙行することを最優先に考えますので、どうかご理解・ご容赦ください。

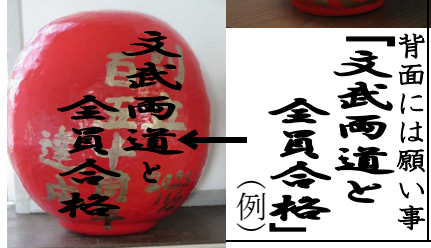
校長のつぶやき

白河だるま市に寄せて...

例年2/11に開催される白河の早春の風物詩・白河だるま市が、今年は中止となりました。私は白河駅前商家で生まれ育ったため、だるま市は「行くもの」ではなく、家の前で「やっているもの」、あるいはだるま市の会場の中に自宅があるという感覚なのです。生まれてこの方、だるま市を見なかったのは、九州の従兄弟の結婚式に行ったときだけです。保護者の皆さんはよくご存じでしょうが、このだるまは江戸時代に白河藩主松平定信公がお抱え絵師の谷文晁に命じて図案をつくらせたもので、左のように顔に縁起物の「鶴・亀・松・竹・梅」が全て描かれていきます。



つる 鶴の葉
つる 亀の葉
つる 松の葉
つる 竹の枝
つる 梅の枝
まゆ 眉
ひげ 髭
口 口髭
あご 顎
かみ 髪
かみ 髪



背面には願い事
文武両道と
全員合格
(例)

だるまの底面には「ぬる」で表示されていて、通常の家庭の神棚に置くのは「ぬる」が最大で「ぬる」が最小です。特注で、選挙などで用いられるものも、さらに極小の「豆」もありました。各家庭では、毎年だるまを1サイズずつ上げて買い求め、「ぬる」まで行くと翌年はまた「ぬる」から買い始めるのがならわしです。私が子どもの頃などは、だるまそっちのけで、友達とたこ焼きや焼きそばなどいろいろんな出店の食べ物を食べまくるのが楽しみでした(今でもそうですが...)。ソースが焦げる香ばしいにおいがだるま市のおいしさです。そんな楽しい祭りさへ奪ってしまうコロナ危機...。昨年までは、PTA役員の方々とだるま市会場のパトロール活動をやっていました。当日は幾つもの学校のPTAが巡視活動をしており、まさに地域を挙げて伝統行事を支えてきたのです。



昨年、巡視を行った大信中学校PTA役員と先生方



※明日から飛び石連休になりますので、予定を早めて発行いたします。よい週末を！